防風植栽の設置の届出

（別紙４－２）

防風植栽に用いた樹木の植栽及び基盤

※各項目には、施工段階の内容を記載してください。変更箇所については、下線で表現してください。

※別紙４－１、防風植栽の計画・設計時の届出の別紙３－２の防風植栽位置図に記載の番号と整合を図ってください。

※植栽基盤（支柱の形式、土かぶり）、及び植栽基盤と人工地盤等との関係が分かる図面（植栽部断面詳細図等）、添付してください。

特に人工地盤上への植栽を行う場合は、排水勾配や排水設備などが明記された図面としてください。各図面には、防風植栽番号に該当するのかを明示してください。

番号（予測時）	番号（設計時）	防風植栽に用いる樹木			樹木環境		植栽時期（予定）	植栽基盤						備考※5
		樹種	樹高（m）		風環境※1	日照※2		採用支柱※3	土かぶり（cm）	土壌※4（ ）は年度含有量	人工地盤への植栽の有無	排水構造（ ）は断面図番号	マルチングの有無	
			予測時	設計時										
Ⓐ	①	シラカシ	8.0	8.0	1	良好	５月	四脚鳥居	100	現場発生土に客土（20%）	人工地盤	排水口を設置（図１）	有	
Ⓑ	②	クスノキ	10.0	10.0	1	やや不良	５月	地下支柱＋二脚支柱	60	現場発生土を使用（20%）	自然地盤	自然排水（図２）	無	

＜樹木環境について＞

※１　風環境；環境アセスメント図書の風環境の予測結果より、建設後（防風対策後のランクを記入すること。

※２　日照；良好（日中にほとんど日影になることはない）、やや不良（建物等の影になる時間が概ね日中の半分程度）、不良（日中のほとんどの時間で建物等の影になる）の３段階で評価すること。

＜植栽基盤について＞

※１　支柱；地上支柱（ニ脚鳥居、四脚鳥居、ワイヤー支柱など）、地下支柱など支柱の形式を記入すること。

※２　土壌；現場発生土の使用の有無、土壌改良の有無などを記載すること。また、改良後の概ねの粘土含有量を記載すること。

＜その他＞

※３　備考；樹木の選定、土壌の選定時に特段の配慮を行う場合に記載すること。

防風植栽に用いる樹木の主な採用理由

※防風植栽に用いる樹木の主な採用理由に加え、実施設計段階から変更した内容について記載してください。

※変更箇所については、下線で表現してください。

樹種の採用理由	

防風植栽の植栽基盤の主な採用理由

※防風植栽に用いる樹木の主な採用理由に加え、実施設計段階から変更した内容を記載すること。

※変更箇所については、下線で表現すること。

植栽基盤の採用理由	